

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名張市立桔梗が丘小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 518-0623
三重県名張市桔梗が丘三番町二街区67

E-mail : g01_e-kikyo@nabari-mie.ed.jp

Website : www.nabari-mie.ed.jp

児童生徒数：男子 241 名 女子 249 名 合計 490 名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

人権

・ 3年生

児童館は、どのような願いで建てられ、どんな活動をしているところかをお話していただきました。笑顔で楽しくくらすために、小学生からお年寄りまでが人権を守る活動をしていることを聞いて、みんな感心した様子であった。また、一つ一つ願いの込められたカルタに触れることで、子どもたちの人権に対する考えも深まったのではないかといえる。

・ 4年生

人権教育主事に、友だちとのかかわりでは次の3つのことが大切であることを教えていただいた。ご自分の体験話を交えて、とても分かりやすく話していただいたので、子どもたちは、真剣な表情で聞き入っていた。

1. こんな力をつけてほしい。

①見方を変える力…友だちと一緒にいることで分かることもあるが、この子はこんな子だという決めつけもある。もっと何かあるんじゃないかと思おうとする力

②想像する力…「こんなことを言ったら（やったら）どうなるかな？いやな思いをするかな？喜んでくれるかな？」と考える力

2. 思いや願い

比奈知文化センターには、世の中の差別・いじめなど（人が不幸になること）をなくそうと勉強している教室がある。そこでは、人権カルタを作って次のようなメッセージを伝えている。

3. 「つながり」をもつ

まず、自分をふり返る（自分を知る）ことから始める。人のことばかり気になって、「こんなことを言われた、された。」と考えるのではなく、しっかり自分を見つめようとする必要がある。そこが、心と心のとつながりがもてるきっかけになる。

・ 5年生

Fさん（名張市教育委員会）をお招きして、人権コンサートを開催した。「部落差別やあらゆる差別をなくしたい」「（5年生のみんなも）仲間になってほしい」「命って大切やで」と語りかけるFさんとの出会いは、部落差別やあらゆる差別をなくすために何ができるのかを、そして自分たちのクラスは本当の仲間になっているのかをもう一度見つめ直す機会になった。

